

そ お

# 曾於 議会だより

2008.5  
No. 12



平成20年度予算を可決	2
市政を問う 一般質問	6
委員会報告	13

光神小学校の新一年生(末吉)

# 地域活性化住宅建設事業

## 10棟を建設

### 前川内活性化住宅（末吉町深川）

深川小近くに建設されている4棟の活性化住宅。  
深川小学校の児童増につながっている。

3月定例会は、2月29日に開会し、3月27日に閉会しました。

今議会では、平成20年度当初予算や平成19年度予算の補正に関するもの、また曾於市後期高齢者医療に関する条例の制定他36件、道路特定財源の確保に関する意見書の発議が1件、審議可決・採択され、2008年4月後期高齢者医療制度に関する陳情1件が、不採択となりました。

# 平成20年度一般会計予算

# 204億円

前年対比 8.3%(15億6千万円)の増

## ◎当初予算

(賛成多数 可決)

本年度の一般会計予算は、平成19年度当初予算に対して、15億6千万円8.3%増の204億円であります。

歳入で市税は19年度とほぼ同じ30億5,718万円、地方交付税(普通交付税)は3.2%増の79億3,300万円、繰入金は財源不足を補てんするための財政調整基金や、国営畑地帯水源整備事業負担金、償還のための基金繰入により94.6%増の16億1,838万4千円、市債は32.7%増の29億280万円、公営住宅建設事業、地域活性化住宅建設事業、末吉中学校普通教室棟改築事業など大型事業や、国営畑地帯水源整備事業負担金の償還及び借換債による補償金免除繰上償還等が主なもの

です。

歳出では、人件費24%増の40億9,660万7千円、物件費は2.7%減の22億8,665万7千円、維持補修費は9.9%増の2億6,479万4千円、扶助費は0.1%増の28億7,409万9千円、補助費は県後期高齢者医療広域連合負担金により32.3%増の23億2,004万5千円、公債費は借換債による補償金免除繰上償還により26%増の34億2,981万4千円、普通建設事業費は、公営住宅建設事業、地域活性化住宅建設事業、国営畑地帯水源整備事業負担金、末吉中学校普通教室棟改築事業及びメセナ住吉交流センター泉源整備事業により49.6%増の37億8,135万6千円となりました。

## ◎条例

☆曾於市やまびこ館の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致 可決)

本条例は、財部駅の駅舎が築後50年経過し、JRが建て替えの計画がないことから、曾於市の北の玄関口として、市が館を造り地域の活性化を図るものであります。

待合所、トイレを市が管理し、多目的ホールは、指定管理者に運営を任ずることである。活性化のために乗降客の増加を図り、イベント開催など地域の声を十分反映し検討するよう意見も付されています。

☆曾於市食育まちづくり推進基本条例の制定について

(全会一致 可決)

本条例は、市民一人ひとりが、食の安全・栄養及び

食料自給率の問題等に鑑み、健全な食生活を実践すると共に、豊かな食環境と日本型食生活等優れた食文化を受け継ぎ、次世代を担う子どもたちに生きる力を付けさせ、家庭、学校、保育所、地域、職場等相互理解を求め、総合的かつ計画的にすすめるための条例であります。

☆後期高齢者医療に関する条例の制定について

(賛成多数 可決)

本条例は、平成20年4月1日より、75歳以上の後期高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度の施行に伴い、鹿児島県後期高齢者医療広域連合と本市の役割を分担した中、本市の役割を明確にした条例であります。特に保険料の徴収関係、窓口の申請や届出、また保険証の交付等が主なものであります。

## 給食センター委託料 9,699万7千円

大隅・財部の給食センターを民間委託する。  
約6,000万円の人件費削減につながります。



# クローズアップ 新年度予算

## 国営畑地帯水源整備事業(東部畑かん) 10億4,301万4千円

繰上償還のための借り換え。このことによっ  
て2億7千万円の負担軽減になります。



## メセナ住吉交流センター泉源整備事業 8,441万1千円

ボーリング事業が7月終了予定、送湯管配管  
工事が9月から実施されます。



## 乳幼児医療 就学前まで無料 7,679万4千円

6歳の誕生日まで無料だった医療費が、小学  
校就学前まで無料となります。



## 後期高齢者医療事業 5億5,976万円

4月1日からスタートした後期高齢者医療制度。県後  
期高齢者医療広域連合への市町村負担金が主なものです。



# 平成20年度一般会計 204億円はこのように使われます

☆市民サービスのために	22億8,256万5千円	☆生きがいと健康のために	67億2,931万5千円
議会費	2億1,490万円	民生費	53億4,203万9千円
総務費	20億6,766万5千円	衛生費	13億8,727万6千円
☆豊かな暮らしのために	28億9,381万9千円	☆くらしと安全のために	29億3,141万円
労働費	492万9千円	土木費	22億2,706万8千円
農林水産費	27億4,951万5千円	消防費	6億9,326万3千円
商工費	1億3,937万5千円	災害復旧費	1,107万9千円
☆文化と教養のために（教育費）	21億1,307万7千円	☆返済のために（公債費）	34億2,981万4千円
☆備えのために（予備費）	2,000万円		

(単位：千円)

会計名		20年度	19年度	前年対比	被保険者数
一 般 会 計		204億円	188億4千万円	8.3%	
特 別 会 計	国民健康保険	56億1,869万2千円	58億7,576万4千円	△4.4%	14,530人
	老人保健	8億603万2千円	68億6万9千円	△88.1%	7,892人
	後期高齢者医療	5億1,675万9千円	-	100%	8,379人
	介護保険	43億1,350万2千円	40億6,251万6千円	6.2%	14,115人
	公共下水道事業	4億6,720万円	4億3,868万5千円	6.5%	
	生活排水処理事業	1億3,439万1千円	1億3,060万7千円	2.9%	

## 水道事業会計

(単位：千円)

項目	20年度	19年度	前年比
収益的収入	538,153	532,786	1.0%
収益的支出	495,055	502,065	△1.4%
資本的収入	258,700	138,100	87.3%
資本的支出	472,442	321,751	46.8%

### ◎特別会計

☆平成20年度曾於市国民健康  
保険特別会計予算  
(賛成多数 可決)

4月1日より後期高齢者医療保険の導入によって、75歳以上の扶養のお年寄りが外されたための減少であります。

☆平成20年度曾於市老人保健  
特別会計予算  
(賛成多数 可決)

この老人保健特別会計は、事実上、後期高齢者医療制度発足のためなくなります。

☆平成20年度曾於市後期高齢  
者医療特別会計予算  
(賛成多数 可決)

4月1日よりスタートする75

歳以上のお年寄りが加入する制度になります。基本的には年金から保険料が天引きされ、県内一本化されたものになります。

(反対討論の意見)  
75歳以上のお年寄りの方が強制的に保険料を年金から天引きされ、生活ができない方が出てくるおそれがあります。保険料の滞納になると保険証を取り上げる仕組みになっており、お年寄りに早く死になさいと言っている大変問題のある制度であります。

### (賛成討論の意見)

後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者が、その負担能力に応じて公平に負担する必要な制度であります。

☆平成20年度曾於市公共下水  
道特別会計予算  
(全会一致 可決)

旧末吉町が水質汚染による生活環境と大淀川の水質改善を目的に取り組まれた事業であります。

☆平成20年度曾於市水道事業  
特別会計予算  
(賛成多数可決)

市民が健康で豊かな日常生活等を支える上で、安心安全な水の供給が求められています。

# 政を問う



久長登良男 議員

## 市有財産管理（山林）は

市長／治山、治水の上からも取り組んでいく



整備されたやまびこ館と駐車場

**久長登良男議員** 複層林と混合林が展示林的に植栽されているが、地域の林業振興にどのように活かしていくのか。  
**池田市長** 市有林の複層林面積は、現在、財部支所管内が2・58ha、末吉支所管内はなく合計4・58ha造成している。

今後の取り組みは、複層林、混合林とも技術的に確立されていない現状であり、山林の状況をみながら、技術的に可能な生産性の面からも有利なのか等検討していく。  
**問** 特用林産（サカキ等）を、市全域を対象にした普及は考えられないか。  
**市長** 20年度からは生産量を増加させるため、苗木生産事業も開始する計画である。神仏用の枝物には需要がある。

当面生産組織が整備されている財部を中心にしながら、市全体の生産体制の強化、普及へと拡大していきたい。  
**問** 市有林を管理する就労者の適正確保は図られているか。  
**市長** 19年度の就労者数は財部3名、末吉2名、大隅2名、合計7名である。16年度と比較すると5名減っている。1、3、29haの市有林の伐採、下刈り、枝打ち、つる切りを主な作業としている。今後森林組合との連携を強化しながら、市有林管理に取り組んでいく。

### 財部駅駐車場の確保について

**問** 駅周辺（旧ミスミプロパン）跡地を含めた整備計画は考えられないか。  
**市長** 財部駅の駐車場は、J・Rが月極駐車場として10台分を整備され、現在は4台の契約である。今回一般駐車場5台を新設するので、駐車場は足りると認識している。旧ミスミプロパン跡地は、財部駅から約200m西側に位置し、一体として整備することは、困難であることから現状では考えていない。



10年来行われているからいも交流

### 市立保育園（財部南・北）について

**問** 地域に出向いて会を開催されたようだが、参加者の人数と会議内容はどうだったのか。  
**市長** 今後の保育園運営を検討するために、市民福祉部長以下6名が出席して、保護者や地元住民の意見を聞いた。

**問** 財部地域を中心とした、からいも交流ボランティアの方々が、10年来、外国の人を対象に年2回歓迎会を開催し交流している。これは対象にならないか。  
**市長** 平成20年度は曾於地区を対象に国と県の補助事業で文化芸術団体の育成が目的で、外国人の歓迎会は対象外と認識している。



五位塚 剛 議員

### 大型畜舎等建設の 独自条例を

市長／今後検討していきたい



建築中の豚舎

**五位塚剛議員** 現在末吉町内において養豚場、牛舎建設等で地域住民の反対運動がおきている。市として今後、施設の規模拡大の目標値を定めているか。

**池田市長** 規模拡大の目標値は決めていないが、畜産の頭数を減らさないことが大事であると考えている。

**問** 農地の転用について市の基本的な考え方は何か。

**市長** 周囲の農地及び居

住環境に問題が起きないように、糞尿処理など指導していく。

**問** 養豚場や大型畜産施設の建設について、地域住民の同意の求め方の見解を。

**市長** 農地転用については、隣地の同意の必要がなくなっている。しかし申請者の自己責任において問題がある場合、責任をもって対応するようになっていく。

しかし事業者においては、関係住民等の建設に

対する了解を求める努力が必要であると考えている。

**問** 現在の法律の状況では、同じようなことが畜産施設の建設段階で問題が起きることは予想されるか。

曾於市の畜産振興と住民の暮らしを守る上からも市独自の条例を作り、対応すべきではないか。

**市長** 曾於市環境基本条例の中で対応できないか考えてみる。

**問** 環境基本条例は、施設などの完成後の問題であり、農業委員会へ申請する前の明確な畜産施設建設の条例を作るべきではないか。

**市長** 現在の状況ではいろいろな畜産振興に問題があるので、今後条例ができるかを含めて検討していきたい。

### 市営住宅建設について

**問** 市営住宅の入居希望者は増えているが、現在、待機者は何名いるか。

**市長** 市全体で1,15

4戸あるが、政策空き家73戸を除くと1,081戸あり、入居戸数1,003戸である。待機者は、末吉で44名、大隅で26名、財部で74名である。入居希望する団地が特定されているため、長期間の待機者が多い。

**問** 農村部の市営住宅建設は、希望者の多いところから、積極的に建設を進めるべきではないか。

**市長** 20年度は小中学校の生徒を確保する目的として、人口減少地域を優先し、入居希望者がある地域を選定していく。

### 後期高齢者医療制度は中止すべき

**問** 4月からの後期高齢者医療制度は、75歳以上のお年寄りいじめの制度である。市長の認識は。

**市長** 老人医療制度にかわってできた制度で、当然市も加入すべき制度である。

**問** 市独自の支援策は考えているか。

**市長** 制度そのものへの支援は考えていないが、はり灸、マッサージ、温泉補助については支援していきたい。



柳迫活性化住宅

# 国道・県道の整備促進を強化すべき

市長／より積極的に取り組む



土屋 健一 議員

## 県道末吉・財部線

**土屋健一議員** 本路線の阿邪里地区の工事の進捗状況はどうか。

**池田市長** 合併によりさらに重要幹線道路となった。現在県において700mを着工している。事業費は約6億円で98%の用地は取得済みである。平成21年度の完成予定である。

**問** 国道10号線と蓑原間の整備は要望していくのか。

**市長** 柳迫地区からも要望が出ている。阿邪里地



工事中の阿邪里地区

区の状態をみながら県へ強く要望していく。

## 県道塚脇・財部線

**問** 本路線の上村中野地区の進捗状況はどうか。

**市長** 未改良区間1,200mのうち900mが採択され着工している。事業費は約3億3,400万円で、用地は全部取得済みである。平成22年度完成予定である。残りの区画も早期に着工できるように要望していく。

## 県道大川原・小村線

**問** 本路線の着工見込みはあるのか。

**市長** まだ見込みは立っていないが、粘り強く要望していく。

**問** 大川原交差点信号に予告灯が必要であるが。  
**市長** 必要性は認める。地元からの要望書に市長の意見書を付して、早々に手続きを進める。

## 国道・県道の改良を強力に推進すべき

**問** 国道269号線、県道2号線は宮崎県と比べると改良の遅れが目立つ。要望活動はどのようになっているのか。もっと強化すべきではないか。

**市長** 曾於地区土木協会による要請活動に加えて、機会あるごとに働きかけている。今後も積極的に要望していく。



大川原交差点

## 集落内道路に対する市の対応は（維持補修、排水路、水道管）

**問** 市道認定以外の道路は、受益者や自治会によって維持管理がなされている。高齢化に伴って、労力が低下するが工事を必要とする部分には支援してはどうか。

**市長** 自治会で清掃とやぶ払いを実施して頂き感謝している。現在市の条例では市道以外は工事ができない。必要などころには、原材料支給で対応している。

**市長** 自治会で清掃とやぶ払いを実施して頂き感謝している。現在市の条例では市道以外は工事ができない。必要などころには、原材料支給で対応している。

水道管理設の本管から先は受益者負担である。宅地化が見込まれる場所については、検討する。



# 執行機関と議決機関は 一線を

市長／識見者として協力を



迫 杉雄 議員

**迫杉雄議員** 法令で定めている審議会と、それ以外の協議会や審議会に対して、議員の参画状況はどうであるか。

**池田市長** 市議会議員が構成員である協議会、審議会などは27件であり、お願いしている委員は延



議員が委員となっている審議会

べ68名の協力を頂いている。

内容的に法令や条例に基づくものが18件、告示によるものが4件、その他事業による任意のものが5件となっている。

**問** 議員は審議会等で承認して、各委員会並びに本会議で議決することに

なるが、市長の見識を伺う。

**市長** 協議会や審議会は、市の基本となる考え方や方向性を示さなくてはならない。そのため、協議や審議の内容を判断するには、多くの方々の意見や考え方を聞く必要がある。多様な人選が望まし

いと思っており、議員として、また識見者として協力をお願いしている。

## 社会総がかりの本市の教育再生について

**問** 教育再生に基づいて、教育振興基本計画の策定について、どのような議論がされているのか。今後の取り組みはどうであるか。

**植村教育長** 一昨年の国会において、中央教育審議会が「教育振興基本計画」にどのような内容を盛り込むか、平成19年度中の策定を目指して議論中である。

地方公共団体は国の「教育振興計画」を参考にし、地域の実情に応じた基本計画を策定することになっている。国や県の動向をみながら、本市教育基本計画の策定整備の目途をつけていきたい。

**問** 「社会総がかりの本市の教育再生」7つの提言と4つの緊急対応について。

**教育長** 4番目の柱「あらゆる手立てを総動員し、魅力的で尊敬できる先生を育てる」では、がんばっている職員を大隅教育事務所曾於支所と連携して「支所だより」で地区民に紹介することで、一層意欲的に職務に精励するよう支援していきたい。

**問** 教育指導費（教職員研修費）の内容はどうなっているか。そして本市の教育振興にどのように反映されているか。

**教育長** 今日の学校教育をめぐるいろいろな問題やパソコン活用、外国語活動など新しい教育の導入に対応するため、学校内外で教職員の研修に努めさせている。



授業風景

# 敬老祝金の全員支給を

市長／すぐ受け入れる気持ちはない



徳峰 一成 議員

**徳峰一成議員**

全員支給

を求める市民の会は、2、700名の第2次署名をはじめ、これまで9、055名分の陳情書を池田市長に提出した。1万人に近い市民の民意をどう受けとめるか。

**池田市長**

比率にしても

高い。しかし、これをすぐ受け入れたいという気持ちになっていない。

**問** 今後も署名が1万人、1万1千人と増える

中で、市長が節目支給にこだわるなら、市民の世論は池田市政からますます離れるのではないか。



改善が求められる申告書

**書きやすい申告書への改善を**

**問** 市のやり方は、市民

市長 志布志市を除いて、他の市町村は節目支給である。

**問** 市民税の申告者は、3人に2人は60歳以上の

高齢者である。ところが申告書が見づらく、記入欄の枠が小さい。

**市長** 来年から改善するよう指示したい。

**問** 内容的にも障害者の記入項目がないなど、見

が市民税の申告書は書けないことを前提にしたやり方ではないか。

市長 自主申告が基本であり、改善するよう指示したい。

直すべき点がいくつかみられる。

市長 市民が書けるよう内容の見直しを指示したい。

**東部畑かん維持管理費と営農見通しの改善を**

**問** 総事業費720億円

かけた東部畑かん（末吉町の対象農地は1,000ha）が、昨年11月から本格通水した。しかし、曾於市がこれまで246戸からもらっている畑かん加入のための「給水開始申込書」は、内容的に大変不十分であり、多くのトラブルを生じかねない。しっかりした契約書を作り、ゼロからやり直すべきではないか。

市長 改めて申込書を作る方向でやりたい。3月の総代会までに指摘された点を含め検討したい。

**問** 今後、畑かんの管理費は、毎年1億から1億5千万円はかかる。赤字分はすべて市の負担とな



スプリンクラーによる散水

る。ところが管理計画は、10年後にすべての農地が畑かんに加入するとしており、計画が大変あまい。

市長 目標に達しなければ見直しをしたい。

**問** 南之郷など曾於市の農地が対象の営農計画では、10年後には白菜の栽培面積は4倍、キャベツは6倍に増える計画になっている。本当に増や

せるのか。また増やしたとして販路は保障できるのか。管理計画を含め、もつと地についた計画策定が必要ではないか。

市長 目標値なので高かかった。若者に期待したい。目標に達しない場合は見直しをしたい。

# 道路の改良を問う

市長／国・県に要望していく



漆間 純明 議員

**漆間純明議員** 国道269号線、東馬場入口信号機から、吹谷線交差点までの約1.2km、幅員2mの通学路・自転車・歩道合体系の改良拡幅についての見解は。

**池田市長** 現地の状況から、自動車・歩道の設置が必要で、改良の必要がある。現在持留坂の歩道



改良中の桜ヶ丘線

整備が行われているので、早急の着手は難しい状況であるが、危険度の高いところであるので、引き続き強く要望をしていく。

**問** 現在、工事中の持留・竹山間の歩道工事と一体化した改良として申請はできないか。

**市長** この工事は、全体計画1,700mで15年度着工、21年度完了予定となっているが、県の厳

しい財政状況を考えると、早期完了は厳しい状況である。今後も鋭意要望していく。また同じ路線同一地区の2工区の実施については、難しいとの回答があった。

**問** 上の信号に向かっての左方の法面は、国・市どちら側か、歩道新設のスペースは充分にあると思うか。

**市長** 調べてみないとわからないが、登坂車線を

考えている。並行して歩道の件も要望をしていく。

**問** 現在改良中の桜ヶ丘線の基本的な考えについては。

**市長** 今回の工事は、旧福祉センターT字路までの850mの整備で、18年度着工、22年度完了の予定である。

**問** 旧大隅町時代、中学校統合に伴う通学路としても、旧福祉センターを横断し、弥五郎伝説の里へ抜ける基幹道路としての構想もあり、認められた経緯もあるか。

**市長** 引継ぎがなく聞いていない。調査してみる。

**問** 弥五郎伝説の里の利用者を中心に要望の多い、入口交差点の今後の考え方は。(例えば信号機、歩道橋等の設置)

**市長** 今後、関係機関に強く要望していく。

**問** 県道垂水・南之郷線の岩川小の上から、新原自治会入口約3.5kmの新設アクセス道路と自歩道の見解は。



道の駅おすすみのどかいち農土家市入り口

**市長** 岩川小の上から、別府自治会までは、両側に歩道が設置され、その以降部分は片側歩道の設置となる。

**問** アクセス道路に関する現況と、今後の進捗状況はどうなっているか。

**市長** 岩川小からバイパス(別府)間の500mは、20年度完了予定。バイパス間の500mは用地等の調査中である。

当初計画は、東九州自動車道供用開始に合わせ

る計画だったが、いつ完了とは予測しがたいところである。

**問** 今回の計画にのらないと何年先になるのか、元はももちろん、利用者の長年の悲願の道路開通となるわけだが、用地交渉に向かれる考えは。

**市長** 事情が許せば、計画年度完了を私も願っている。相談に行くこともやぶさかではない。

# 道路行政について

## 市長／計画に基づき進める



原田賢一郎 議員

**原田賢一郎議員** 合併から現在に至るまで、各町の改良された市道の路線数とその延長は。

**池田市長** 末吉管内21路線で、改良済み延長8.1km、改良率58・6%、大隅管内19路線で改良済み延長5.3km、改良率67・5%、財部管内17路線、改良済み延長5.9km、改良率39・2%となっている。

**問** 市道認定にのせられる路線数と道路延長は。

**市長** 末吉、財部管内にはないが、大隅管内に6路線（八合原、弘津田、神牟礼、中園、笠木、新

されたか。

**市長** 平成20年2月末現在で末吉管内11路線約2.5km、大隅管内8路線約6.8kmを実施した。財部管内においては実施しなかった。

**問** 今後の実施計画と見通しは。

坂元)、約45kmの集落道が用地等の条件が整えば可能である。

**問** 市道沿線の樹木等が覆い被さり、交通の妨げになっている箇所は、伐採作業を19年度はどう実施

**市長** 所有者で伐採困難な箇所については、地元での対応をお願いしたい。高所作業等の危険な作業が予想される場合は市で行う。

## 林業行政について

**問** 曾於市内における民有林のうち、間伐対象林の間伐の進捗状況は。

**市長** 財部管内で2,515haに対し、504haが間伐済み20%、末吉管内2,282haに対し、334ha、14・6%、大隅管内4,171haに対し、466haで11・2%である。

**問** 間伐を促進するため、市独自の助成措置を講ずるべきではないか。

**市長** 間伐を実施した山主に対し、市内居住者10a当たり3,000円、市外居住者に2,000円を補助している。当分はこの方向で実施していく。

**問** 曾於市内におけるシキミ、神サカキ等の植栽面積はいくらか。

**市長** 神サカキ50ha、シキミ14ha、ヒサカキ11ha、計75haである。

**問** サカキ植栽に取り組むことによって、森林が



末吉町祝井谷自治会の仏像

## 文化財指定について

**問** 末吉町祝井谷自治会の仏像は、文化財指定を受けられないか。

適正に管理され、間伐の促進が図られる、高齢者でも生産可能であり、年金との併用で収入が安定する、以上のような点から、財部町をモデルとしたサカキを普及し曾於市全体に普及を図れないか。

**市長** 優良品種の導入や管理予定のヒノキ林地の活用により栽培面積を拡大し産地化を目指す。

**植村教育長** 現在文献等調査中であり、その結果、文化財として価値が高く、指定文化財にすべきとなった場合、市の文化保護審議会に諮問し、教育委員会が審議した後、告示すると指定文化財として効力を発揮することになる。

# 委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会は、3月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

## 総務常任委員会（渡辺利治委員長）

平成19年度曾於市一般会計補正予算や平成20年度曾於市一般会計予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案8件を全会一致で可決、議案1件を賛成多数で可決すべきものと決定しました。

### ☆所管事務調査

#### （調査事項）

財産に関する調査

（市有林の境界について）

曾於市が管理する市有林の面積は、979haである。財部地区の市有林は416haで、林道の整備、除間伐がよくなされ、副産物としてサカキが栽培され、高い評価を得ている。末吉地区は203haあり、広葉樹林も多く、国（国有林）と分収林契約をして、販売の7割が市の収益となるシステムである。大隅地区は359haあり、他に類を見ないものとして、イチイガシの単純一斉造林がある。林齢60年、立木200本と非常に価値のあるものとして、当分は残す方針である。

全ての市有林において、境

界はコンクリート柱で標示され、さらにビニールパイプで補助的に設置されていたが、市有林としての標示をすべきであるとの意見が出された。

今回の調査で、市の所有する立派な財産であることや、自然環境に与える山林の大切さ、災害防止に寄与する役割、また、その山林で仕事に従事する人々等のためにも、旧態依然の指導法を改め、関係団体と協議し、年次計画を作成すべきであるとの意見の一致をみた。

### ☆曾於市やまびこ館の設置及び管理に関する条例の制定について

**問** 事故が発生した時の市とJRの取り決めはあるのか。

**答** 事故については、ホーム内はJRで対応し、館内は市であるが、全国町村会総合賠

償補償保険で対応する。土地使用貸借契約もある。

### ☆平成20年度曾於市一般会計予算について（所管分）

**問** 防火水槽4t7基新設の単価はどうなっているか。

**答** 国で基準単価が示されている。

**問** 市の組織再編はどうなっているか。

**答** 計画以上の退職者増により単独補佐の原則禁止、施設

の管理運営は、民間委託か指定管理者制度を導入する。係

の統合も進める。

**問** 代替バス運行補助金はどのうなっているか。

**答** 補助率は県で定めてあり、限度50%である。

**問** 住宅分譲売払いの予定はどれくらいあるのか。

**答** 4地区に13区画が残っており、それぞれ1区画を計画している。

**問** 市のホームページへのアクセスはどれくらいか。

**答** 年間5万件くらいあり、常に新しい情報を提供するよう努めている。

**問** 市の債務負担件数と合計額はどれだけか。

**答** 129件で16億1,900万円である。

**問** 地方債償還分はどれくらいあり、繰上償還分は本年度何件あるか。

**答** 通常償還分783件と、繰上分19件で合計802件ある。

**問** 4月からの入札制度はどのようになったか。

**答** 市のホームページに入札情報を開設し、誰でも見ることができ。条件付き一般競争入札の公告期間を2週間、入札参加申込受付期間を1週間と予定し、入札の執行は火曜日に行うため、毎週火曜日に情報を更新する。

**問** 大隅支所駐車場の白線引きと舗装計画は。

**答** 白線引きと舗装計画がある。

**問** 固定資産に係る土地の筆数は市全体でどれだけあるのか。

**答** 約22万筆ある。

**問** 税金収納対策はどうしているのか。

**答** 各課連携をとり、訪問、文書、専従職員等に対応している。

**問** 本年度の地籍図根点確認

点数と、分筆合筆作業数予定はいくらか。

**答** 図根点は大隅町坂元地区の136点であり、分筆合筆は市内全域158筆分を計画してある。

**問** 監査事務局職員が2年度より1名減となるが、チェック機能は大丈夫か。

**答** 行革で2名となつている。



大隅支所駐車場

**意見** 予算規模からみて監査対象が広がっている。本来の監査機能任務の希薄が懸念されるので慎重に執行するように。

**問** 議員の共済掛金はいくらかで先行きどうか。

**答** 報酬の16%であり、かなり高くなっている。合併により全国の議員も少なくなり、先行きが不安である。

### 文教厚生常任委員会（山田義盛委員長）

平成19年度曾於市一般会計補正予算や平成20年度曾於市一般会計予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案9件を全会一致で可決、議案6件を賛成多数で可決すべきものとし、陳情1件を不採択と決定しました。

#### ☆平成19年度曾於市一般会計予算の補正について（第8号）（所管分）

**問** 自主文化事業収入が当初予算より270万円の減となっているが、その理由は何か。

**答** 入場者数の減のためであり、今後、市民に魅力ある事業

業内容を検討していきたい。

**問** 恒吉城跡保存整備事業は、市になつて積極的な取り組みがなされていないのではないか。

**答** 第一段階として、市の文化財保護委員会に諮問している。



校舎整備の進む末吉中学校

#### ☆平成19年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算の補正について（第3号）

**問** 一般会計繰入金38万7千円の増額理由は何か。

**答** 財部町の42人槽の廃止届け分で国庫補助が対象外となった。今後、条例・規則等の見直しを検討したい。

#### ☆曾於市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 平成20年度から特定健康診査等を行なうが、その対象者と健診保健指導の達成目標は。

**答** 対象者は40歳から74歳までの国保被保険者であり、目標は、健康診査受診率を現在の33%を40%に上げたい。特定保険指導実施率は平成20年度、35%を目標としている。

#### ☆曾於市戸別浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 受益者負担金は工事の入札価格が変わっても一緒か。

**答** 分担金は、条例で人槽区

分により定められているので入札価格により変わることはない。

#### ☆平成20年度曾於市一般会計予算について（所管分）

**問** 曾於市クリーンセンター管理費の修繕費が約5,000万円とあるが、今後の施設改修計画費は。

**答** 施設の使用を後10年見込んでいる。今後の改修費は平成21年度が約5,615万円、平成22年度が約7,159万円、平成23年度が約8,264万円を計画している。

**問** 財部南、北保育所の存続についての考えは。

**答** 存続については未定である。園児が今後も減少していけば、施策として幼児学園、民間委託等も考えなければならぬ。

**問** 学校給食委託料9,160万円の業者選定は。

**答** 大新東ヒューマンサービス(株)で実績等から信頼性があると指名委員会判断し、随意契約とした。

#### ☆平成20年度曾於市国民健康保険特別会計予算について

**問** 基金3億5千万円を取崩した理由は。

**答** 現行の医療分及び介護給付金に新たに後期高齢者支援分が加わり財源不足を生じた。

#### ☆平成20年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算について

**問** 本年4月1日より後期高齢者医療制度が施行されるが、住民への説明会で十分理解を得られたと思うか。

**答** 高齢者学級他、校区ごと、自治会ごとに説明会を実施したが、十分とは言えない面もある。今後、民生委員やケアマネージャー等を通じ周知を図りたい。

#### ☆平成20年度曾於市介護保険特別会計予算について

**問** 介護予防住宅改修費で984万円計上しているが、見込み件数の考えは。

**答** 平成19年度10月までの件数を参考とし、120件とした。

#### ☆平成20年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算について

**問** 本事業は平成14年度から実施され、年々減少しており、19年度は約50基となっている。計画の100基を見直すべきではないか。

**答** 国に平成21年度までの地域再生計画を提出しており変更はできない。今後、浄化槽設置推進員の啓発活動を強力に進めていく。

#### ☆2008年4月実施の後期高齢者医療制度にかかわる陳情書

本陳情書は「後期高齢者医療制度」を凍結・撤回するよう国へ意見書を提出して欲しいというものであったが、主に次のような意見があり、採決の結果、賛成少数により不採択となった。

①問題の多い制度であり、中止は難しいかもしれないが、改善点を含め検討すべきである。  
②本市では、後期高齢者医療制度に伴う条例及び予算も審議され市民への説明会も終わっている。

**建設経済常任委員会（橋元孝一委員長）**

平成19年度曾於市一般会計補正予算や平成20年度曾於市一般会計予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案10件を全会一致で可決すべきものと決定しました。

**☆曾於市有住宅及び市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について**

市有住宅、市営住宅入居者及び周辺住民、市民の生活の安全と平穏を確保するため、国土交通省から公営住宅における暴力団員の排除に係る基本方針が示されたこと

に伴い、これに準じて市有住宅、市営住宅における暴力団員の排除に係る措置を明確化するための改正である。

**意見** 市民が安全で安心して生活ができる環境づくりに、近隣市町と連携を取りながら取り組まれない。



整備された大川原峡駐車場予定地

**☆曾於市農業委員会の設置及び委員定数条例を廃止する条例の制定について**

月1回の定例会については、部会方式から総会方式に移行する。

**☆指定管理者の指定について（曾於市ゆず搾汁センター）**

**問** 指定先はどこか。

**答** 指定管理者は、株式会社メセナ食彩センターである。

**問** ゆずの買い取り価格は。

**答** 単価については、先進地を基に行政、食彩センター、同好会で決定する。

**☆平成20年度曾於市一般会計予算について（所管分）**

**問** 農業者年金加入促進は。 **答** 今後も加入促進に努めていく。

**問** 園芸振興事業の育苗センター1廿しよ苗生産委託料は必要か。

**答** 育苗センターの生産量はパイオ苗20万2,800本、普通苗39万3,400本で、単価は平均6円75銭で販売しているおり農家のために必要な事業である。

**問** メセナ住吉交流センター1泉源整備事業の送湯設備工事の内容は。

**答** ボーリング工事は7月末に終わり、9月以降に送湯管工事に入り、平成21年2月末までには完成予定となる。

**問** 有機センター管理運営について、堆肥引き取りの無料はいかがなものか。

**答** 当初は50戸の受け入れ戸数であったが、現在では100戸以上となっている。大型農家については、自家処理の推進を行っている。

**問** 国営畑地水源整備事業負担金の繰上償還金の10億4,301万4千円をなぜするのか。

**答** この負担金の繰上をすれば、市負担が交付税措置まで見込んで、約2億7,200万円程度軽減になる。

**問** 屋外広告物許可申請状況はどうなっているか。

**答** 申請の必要な屋外広告物は、曾於市全体では、426件で、許可済みは133件である。残りについては今後も指導をしていく。



下窪地区貯水タンク（大隅）

**☆平成20年度曾於市公共下水道事業特別会計予算について**

**問** 畜産農家の下水道料金はどうか。


**答** 畜産農家の加入については、飲料水とは別に、牛舎用の水道メーターを自費で取り付けるよう説明している。

**☆平成20年度曾於市水道事業会計予算について**

**問** 水道事業啓発助成金は。 **答** 自治会に対し、納入率に応じた報償金である。

**意見** 市民の日常生活に欠かせない大事な水である。良質かつ安全で安定した水の供給に努められたい。

# 議会の動き

1月9日	県市議会議長会臨時総会（鹿児島市）	
22日	総務委員会	
23日	議会運営委員会 全員協議会 文教厚生委員会	
28日	総務委員会	
2月1日	総務委員会	
12日	議会運営委員会	
15日	都城志布志間高規格道路通り初め式（志布志市）	
18日	県後期高齢者医療広域連合第1回定例会（鹿児島市）	
20日	道路特定財源暫定税率維持！鹿児島県決起大会（鹿児島市）	
21日	議会運営委員会 全員協議会	
29日	第1回定例会（初日） 議会運営委員会 全員協議会	
3月4日～5日	第1回定例会（一般質問）	
6日	第1回定例会（補正予算総括質疑・委員会付託）	
7日	各常任委員会	
11日	第1回定例会（補正予算等委員長報告・審議・表決）	
12日	第1回定例会（当初予算等総括質疑・委員会付託）	
13日・14日・17日～19日	各常任委員会	
21日	全員協議会	
27日	第1回定例会（当初予算等委員長報告・審議・表決）	

都城志布志間高規格道路通り初め式

## 編集後記

今年も一斉に市内の小中学校の入学式が行われ、平成20年度のスタートが切られました。

今年の春は、例年になく桜の開花が遅く、ちょうど入学式に合わせたかのように、満開の桜のもとでの入学式となり、穏やかな滑り出しとなりました。

一方、国会では道路特定財源暫定税率が3月で期限切れとなったために、各市町村に影響が出てきており、本市においても2億1千万円の影響額が懸念され、道路整備の遅延が心配されております。

ガソリンの値段が下がることは大いにけっこうなことではありますが、そのツケが道路関係予算凍結という状況になれば、地方に与える損失は計り知れないものとなります。これ以上の地域間格差が生じることのないよう願うものであります。

（原田）

## 私たちが

作っています

いろんなご意見を  
お聞かせ下さい。



## 議会広報等調査 特別委員会

委員長 大川原主税  
副委員長 原田賢一郎  
委員 大川内富男  
吉村 幸治  
大休寺 守  
五位塚 剛

発行責任者

議長 坂口 幸夫